

2022

会 告

No.6

◇通知・案内事項

- 第53回秋季大会 冠シンポジウム・ランチョン・イブニングセミナー・セッションスポンサー募集……本号7ページ
 ○第53回秋季大会 広告・プロモーションビデオ・コマーシャル放映・オンライン展示募集……本号7ページ
 ○「上席化学工学技士」試験 案内……本号9ページ
 ○「化学工学技士」試験 案内……本号10ページ
 ○「化学工学技士(基礎)」試験 案内……本号11ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会		3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会	9/14～16(信州大学(予定))	9/11～13(福岡大学)
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2022年6月 June			
1～3	「反応器の設計」講座(東京都)		4号12
4	原子力・放射能基礎論(6/4, 11, 18, 25, 7/2)(オンライン)		本号14
7	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(6/7, 14)(オンライン/千葉県)		本号13
9～10	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(オンライン)	6月10日(金) 9:00	4号12
14	LOPA 翻訳発刊記念講演会(オンライン)		5号7
16	第12回ファインバブル技術講習会「化学工学分野におけるファインバブル研究の進展」(オンライン)		5号7
20	第15回機器分析講習会(オンライン)	6月6日(月)	5号8
20	CVD反応分科会主催第9回講演会「ドライプロセスへの超臨界CO ₂ 流体の応用」(オンライン)	6月13日(月)	本号15
20～21	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	6月10日(金)	4号12
20～21	第28回化学安全講習会(大阪府)	6月3日(金)	4号17
22～24	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	6月14日(火)	4号13
24	第63回関東技術サロン講演会「日本酒製造におけるデータサイエンスの活用」(オンライン)		本号16
2022年7月 July			
1	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(7/1, 4)(オンライン)	6月24日(金) 9:00	4号9
1	第8回「初心者のための化学工学入門」(7/1, 8, 15)(オンライン)		本号16
1	CVD反応分科会主催第36回シンポジウム「ワイドバンドギャップ新材料の開拓」(オンライン)	6月27日(月)	本号15
2	第59回化学関連支部合同九州大会(福岡県)		3号10
6～8	「P&IDの作り方」講座(東京都)	6月28日(火)	4号13
8	第27講研究開発リーダー実務講座2022 ー企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?ー(7/8～12/2)(大阪府/オンライン)		本号18
9	第24回先端研究発表会・講演会(宮城県)	6月17日(金)	本号16
11～12	「化学物質の安全・安全実技体験」講座(千葉県)	6月10日(金)	本号13
15～16	第32回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会(福岡県)	ポスター発表 6月9日(木) 要旨原稿 6月16日(木) 参加申込 6月30日(木)	本号19

20	第53回化学工学の基礎講習会(7/20～8/5)(福岡県)	6月22日(水)	本号19
21～22	第46回 基礎化学工学演習講座(第1クール)(愛知県／オンライン)	7月8日(金)	4号16
25～26	「プラント計装制御-2」講座(東京都)	7月15日(金)	4号14
25～27	第46回 基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)	7月11日(月)	4号16
26	第8回ものづくり技術セミナー「プラスチック資源環境における選別・リサイクル技術」(オンライン)		本号17
28	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編 (7/28, 29, 8/1)(オンライン)	7月21日(木) 9:00	4号9
2022年8月 August			
5	フロー・マイクロ合成研究会 第36回公開講演会ー講演&展示ー(大阪府／オンライン)	7月29日(金)	本号18
8～31	第46回 基礎化学工学演習講座(第3クール：1日単位)(オンライン)	7月25日(月)	本号17
19	先端技術を支える単位操作シリーズ 「粉体技術の最前線ー粉碎・分級・シミュレーションー講演&見学会」(大阪府)	8月3日(水)	本号18
20	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(水)	本号10
24	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(8/24, 26, 31, 9/2) (オンライン)	8月17日(水)	4号14
25	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(8/25, 9/1)(オンライン)	8月17日(水)	4号15
26～27	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ！～」 東海セッション(愛知県)	6月30日(木)	本号12
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)	6月15日(水)	本号7
30～10/1	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ！～」習志野セッション(千葉県)	6月30日(木)	本号12
2022年10月 October			
1	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月31日(水) 13:00	本号11
15	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)	6月30日(木)	本号9
28～29	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ！～」 関西セッション(兵庫県)	6月30日(木)	本号12
2022年11月 November			
25～26	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ！～」 幕張セッション(千葉県)	6月30日(木)	本号12

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+)(京都府)		6号8
8月中旬で調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		
10月25～28日	「第6回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2022)」 The 6th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems(IMPRES2022)		4号16

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp https://jstc.jp/exam/examination/
第27回 計算工学講演会(秋田県)	6月1～3日(水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jcses.org https://www.jcses.org/koenkai/27/
日本コンピュータ化学会2022春季年会 (20周年記念シンポジウム)(オンライン)	6月1～3日(水～金)	日本コンピュータ 化学会	080-2388-0894 sccjoffice@sccj.net https://www.sccj.net/events/nenkai/2022sp/
第50回全国設備管理強調月間(2022年度)(全国)	6月1～30日 (水～木)	公益社団法人日本 プラントメンテナ ンス協会	03-6865-6081 fukyu@jipm.or.jp http://www.jipm-topics.com/gekkan/
第65回粉体入門セミナー I (オンライン)	6月2～3日(木～金)	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
2022年度界面コロイドラーニング 第38回現代コロイド・界面化学基礎講座(オンライン)	6月2～3日(木～金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会	03-3292-6163 jigyokukaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202203/learning-38th/
第244回西山記念技術講座 「基礎から振り返る先端鉄鋼材料科学」(オンライン)	6月3日(金)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	03-3775-9533 (03-3775-9534) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama243.html
第140回学術講演会 ー高温プロセスを用いた分離と精製ー(東京都)	6月3日(金)	一般社団法人環境 資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) info@rpsj.org https://www.rpsj.org/
「レオロジー講座・基礎編」NEW(オンライン)	6月6日(月)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
2022年度ゼオライトフォーラム 「多孔質材料の新たな可能性」(オンライン)	6月7日(火)	日本ゼオライト学 会	03-5286-3281 (03-5286-3281) shimajima@waseda.jp https://jza-online.org/events/
色材セミナー(オンライン)	6月8日(水)	一般社団法人 色 材協会	06-6356-0700 (06-6356-0711) kansai@jscm.or.jp https://shikizai.org/20220608_shikizai_seminar/
日本膜学会第44年会(東京都)	6月9～10日 (木～金)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://maku-jp.org/symposium/
第87回技術セミナー(東京都)	6月10日(金)	公益社団法人腐食 防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/87.html

混相流レクチャーシリーズ47(オンライン)	6月15日(水)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/
第33回年次大会(東京都)	6月15～16日 (水～木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第11回JACI/GSCシンポジウム(オンライン)	6月15～16日 (水～木)	公益社団法人新化 学技術推進協会	03-6272-6880 (03-5211-5920) jacigsc11@jaci-gsc.com https://jaci-gsc.com/11th/
熱測定オンライン講習会2022(オンライン)	6月17日～ 9月16日(金～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2022online lecture/
第66回粉体入門セミナーⅡ(オンライン)	6月21～22日 (火～水)	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用(東京都)	6月22日(水)	日本冷凍空調学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) hiro.furukawa.aa@jsrae.or.jp https://jsrae.or.jp/info/20220622_ desisemi.pdf
HPI技術セミナー 「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」 (オンライン)	6月22～23日 (水～木)	一般社団法人日本 高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/murt9w9cg-178/#
第34回バイオエンジニアリング講演会(福岡県)	6月25～26日 (土～日)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7610 bioconf22@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/ bioconf22/index.html
燃焼の基礎に関する講習会(オンライン)	6月27日～ 7月30日(月～土)	一般社団法人日本 エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/846/
第9回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都／オンライン)	7月1日(金)	公益社団法人 日 本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2022@pacmice.jp https://ez-entry.jp/basic-lecture2022/ entry/
環境バイオテクノロジー学会 第80回シンポジウム「グリーンイノベーションと環境バ イオテクノロジー」(オンライン)	7月1日(金)	環境バイオテクノ ロジー学会	06-6879-7438 jseb_80th_sympto@icb.osaka-u.ac.jp https://www.jseb.jp/news/jseb80sympo/
オンライン技術セミナー 「材料の損傷・破壊の基礎知識とその適用」(オンライン)	7月5日(火)	(一社)日本高圧力 技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/mudzmfjxe-178/#
第67回粉体入門セミナーⅢ(オンライン)	7月6～7日(水～木)	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp http://appie.or.jp/
第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月6～8日(水～金)	(公社)日本アイソ トープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第32回環境工学総合シンポジウム2022(香川県)	7月7～8日(木～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2022@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env22
触媒学会 第33回カタリシススクール(オンライン)	7月12～15日 (火～金)	一般社団法人 触媒 学会	045-339-4297 (045-339-4297) catalschool@sec-informations.net https://catsj.jp/event/12232

第26回動力・エネルギー技術シンポジウム(佐賀県)	7月13～14日 (水～木)	日本機械学会 動力 エネルギーシステム 部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) pesymp2022@jsme.or.jp https://www.ioes.saga-u.ac.jp/ex-event/PES26/index.html
日本保全学会「第18回学術講演会」(京都府／オンライン)	7月13～15日 (水～金)	日本保全学会	03-5814-5430 (03-5814-6705) secretariat@jsm.or.jp https://jsm-conference.com
メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022(東京都)	7月20～22日 (水～金)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/tokyo2022/index.html
9th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT9)(福岡県)	7月24～29日 (日～金)	触媒学会	092-802-6711 (092-802-2871) tocat9@catsj.jp https://tocat.catsj.jp/9/
第39回エアロゾル科学・技術研究討論会(神奈川県)	8月3～5日(水～金)	日本エアロゾル学 会	(03-5227-8632) jaast-touron@conf.bunken.co.jp https://www.jaast.jp/new/home-j.html
ICYRAM2022(福岡県／オンライン)	8月3～6日(水～土)	日本MRS	092-802-2755 icyram2022@gmail.com https://icyram2022.wixsite.com/official-site
第31回日本エネルギー学会大会(東京都)	8月4～5日(木～金)	一般社団法人日本 エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai31sanka@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/833/
日本混相流学会混相流シンポジウム 2022(東京都)	8月19～21日 (金～日)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/
第11回環境放射能除染研究発表会(福島県／オンライン)	8月24～25日 (水～木)	一般社団法人環境 放射能とその除 染・中間貯蔵およ び環境再生のため の学会(通称:環 境放射能除染学 会)	029-886-9227 (029-886-9228) maruyama@khjosen.org http://khjosen.org/event/conference/11th_Con/kenkyu11.html
2022年度第1回静電気学会講習会 「半導体デバイスの静電気対策(基礎編)」(オンライン)	8月25日(木)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/academic/6.html
2022年度工学教育研究講演会(東京都)	9月7～9日(水～金)	日本工学教育協 会, 関東工学教育 協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2022_jsee_conference@jsee.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2022/top
The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22) (北海道)	9月11～16日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) ive22@jvss.jp https://ivc22.org/
地盤技術フォーラム 2022(東京都)	9月14～16日 (水～金)	産経新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) info2022@sgrte.jp http://www.sgrte.jp/
第38回ファジィシステムシンポジウム(FSS2022) (東京都)	9月14～16日 (水～金)	日本知能情報ファ ジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2022_committee@mlsv.kochi-tech. ac.jp http://fss.j-soft.org/2022/

第39回センシングフォーラム 計測部門大会(東京都)	9月21～22日 (水～木)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-0314) masahiro_fujiwara@ipc.i.u-tokyo.ac.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf39.html
日本流体力学会年会2022(京都府)	9月27～29日 (火～木)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2022/
第11回反応性プラズマ国際会議／ 第75回気体エレクトロニクス会議(宮城県)	10月3～7日 (月～金)	第11回反応性プラズマ国際会議組織委員会	022-795-7116 icrp-11@grp.tohoku.ac.jp https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/
第70回レオロジー討論会(石川県)	10月13日～14日 (木～金)	日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第41回電子材料シンポジウム(EMS-41)(奈良県)	10月19～21日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	03-5841-3840 (03-5841-3862) ems41-query@ems.jpn.org https://ems.jpn.org/
8th International Conference for Ion Exchange (ICIE2022)(東京都)	11月4～7日 (金～月)	日本イオン交換学会	03-3238-3370 icie2022@jaie.gr.jp http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム／ 英語名：The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates(SynOre2022)(鳥根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com https://synore2022.com/
第43回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2022)(大阪府)	11月24～25日 (木～金)	第43回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2022@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2022/
SCIS & ISIS2022(三重県)	11月29日～ 12月2日(火～金)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scisis2022+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2022/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/
国際粉体工業展東京2022(東京都／オンライン)	12月7～9日 (水～金) (オンライン会期： 11月21日～2023年 1月27日(月～金))	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2022@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第49回炭素材料学会年会(兵庫県)	12月7～9日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@conf.bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html (予定)
第36回数値流体力学シンポジウム(オンライン)	12月14～16日 (水～金)	一般社団法人日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd36@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/

第53回秋季大会 冠シンポジウム・ランチョン・イブニングセミナー・セッションスポンサー募集

第53回秋季大会概要

会期 2022年9月14日(水)～9月16日(金)
会場 信州大学 長野(工学)キャンパス(〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1)(予定)
(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)
見込み参加者 1,800名以上
内容 研究講演・シンポジウム等
参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連会社の研究者・技術者
URL <http://www3.scej.org/meeting/53f/>

SCEJ冠シンポジウム

各企業の化学工学に関連・連携する技術や将来ビジョンを発表頂く機会として、個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを実施頂けます。本大会は双方向ライブ配信を併用したオンライン開催で計画しており、完全オンラインのほか、オンサイト(大会会場以外でも可)からの双方向ライブ配信により実施するこ

とも可能です。なお、ご希望により、本大会参加登録者以外も当該シンポジウムに限り参加可能として頂くこともできます。

企業が学会員に知って欲しい技術や将来ビジョンなどに関する2時間から半日程度のシンポジウムとし、シンポジウム内容およびオーガナイザー、講演者は、応募企業で自由に選定頂けます。化学工学会秋季大会のシンポジウムとしての実施であり、自社からの講師だけでなく、内容に関連する学や官からの講師も合わせ、シンポジウムを運営頂ければ幸いです。

申込締切 2022年6月30日(木)

SCEJランチョン・イブニングセミナー

大会期間中の昼休み・夕方を利用してSCEJランチョン・イブニングセミナーを実施頂けます。本大会は双方向ライブ配信を併用したオンライン開催で計画しており、完全オンラインのほか、オンサイト(大会会場以外でも可)からの双方向ライブ配信により実施することも可能です。双方向ライブ配信を大会会場にて実施される場合は本会にて場所および機材を用意します。なお、ご希望により、本大会参加登録者以外も当該セ

ミナーに限り参加可能として頂くこともできます。

申込締切 2022年7月31日(日)

セッションスポンサー

セッション(シンポジウム)のスポンサーを募集いたします。当該セッションのプログラム等にスポンサー様名を表示するほか、開始前等にCMを放映できます。更に、社員5名様まで無料で大会参加登録頂けます。

応募締切 2022年7月15日(金)

新型コロナウイルス感染症流行の影響などにより本記事の内容は変更の可能性がありま

す。申込方法など詳細は大会Webサイトをご覧ください。

問合せ先

化学工学会第53回秋季大会実行委員会
E-mail: inquiry-53f@www3.scej.org

第53回秋季大会 広告・プロモーションビデオ・コマーシャル放映・オンライン展示募集

第53回秋季大会概要

会期 2022年9月14日(水)～9月16日(金)
会場 信州大学 長野(工学)キャンパス(〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1)(予定)
(口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)
見込み参加者 1,800名以上
内容 研究講演・シンポジウム等
参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連会社の研究者・技術者
URL <http://www3.scej.org/meeting/53f/>

広告媒体

○プログラム集への広告掲載

媒体 化学工学会第53回秋季大会研究発表講演プログラム集(冊子体、モノクロ)並びに、大会ホームページ(<http://www3.scej.org/meeting/53f/>, カラー)およびオンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/, カラー)ただし、両者の原稿内容は同一のものとする
プログラム集配布対象 化学工学会第53回秋季大会参加者
大会ホームページ掲載期間 会期直前から会期3ヶ月後まで(参加者以外も閲覧のみ可能)
オンライン学会サイト掲載期間 会期中、常に閲覧可能
広告サイズ 刷り上がりでA4サイズ1枠(1頁)、またはA5サイズ1枠(1/2頁)
申込期限 2022年7月24日(日)(掲載頁数に限り

がありますのでお早めにお申込み願います)

原稿送付期限 2022年7月31日(日)必着

○オンライン学会サイトへの広告掲載

媒体 オンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/, カラー)
掲載期間 会期中、常に閲覧可能
広告サイズ 刷り上がりでA4サイズ1枠(1頁)、またはA5サイズ1枠(1/2頁)
申込および原稿送付期限 2022年8月30日(火)(スペースに限りがありますのでお早めにお申込み願います。プログラム集広告申込者を優先させて頂きます)

○webバナー広告掲載

媒体 化学工学会第53回秋季大会webサイト(<http://www3.scej.org/meeting/53f/>)並びに、オンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/)
バナーサイズ 2種類のサイズを設定します。
大: 左右240×天地92ピクセル(以下)、
小: 左右150×天地38ピクセル(以下)
ファイル形式 GIF、PNGまたはJPEG
リンク設定 掲載のバナー広告から貴社へのリンクを設定します
掲載期間 第53回秋季大会webサイト: 申込受付後、第53回秋季大会webサイト公開終了まで(大会終了後もしばらく公開を続けます: 公開終了は化学工学会にて決定します)
オンライン学会サイト: 会期中のみ
申込およびファイル送付期限 2022年8月30日(火) スペースに限りがありますのでお早めにお申込み願います)

○プロモーションビデオ(広告あるいはwebバナー広告掲載申込団体のみ)

媒体 オンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/)
掲載期間 会期中、常に閲覧可能
ファイル形式 MP4、MOV、WMV、AVI、FLV。
原則200MB以内。時間制限なし。詳細はお問い合わせください。
申込およびファイル送付期限 2022年8月30日(火)

○コマーシャル放映(原則としてプロモーションビデオ申込団体のみ)

媒体 オンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/)
希望するセッション2つ(追加可能)の開始前、休憩時間などに放映。
ファイル形式 MP4、MOV、WMV、AVI、FLV。
原則50MB、1分以内。詳細はお問い合わせください。
申込およびファイル送付期限 2022年8月30日(火)(セッション希望は先着順のためお早めにお申し込み願います)

○オンライン展示(webバナー広告申込団体のみ、展示のためのweb会議アカウントは申込団体にてご準備ください)

媒体 オンライン学会サイト(https://goingvirtual.scej.org/web_conf/)
展示期間 会期中の展示ご希望日時を伺い、プログラムに組み込みます。
申込期限 2022年8月23日(火)(スペースに限りがありますのでお早めにお申込み願います)
展示会場URL送付期限 2022年8月30日(火)

広告料金[税別]

○化学工学会会員(原則として法人会員に限りです)

掲載位置	プログラム集広告*1*2		オンライン学会 サイト広告*1		web バナー広告*3	
	A4縦	A5横	A4縦	A5横	バナー(大)	バナー(小)
表2	55,000円		30,000円	15,000円	60,000円	30,000円
表3	50,000円					
表4	60,000円					
上記以外 (冊子本体末尾)	40,000円	20,000円				
プロモーションビデオ	広告またはwebバナーに追加 + 10,000円					
コマーシャル放映	プロモーションビデオ申込団体は希望セッション2つまで無料。 希望セッション2つ追加ごとに + 5,000円(本大会特別価格)					
オンライン展示					webバナーに追加 + 10,000円	

○化学工学会会員外(原則として法人に限りです)

掲載位置	プログラム集広告*1*2		オンライン学会 サイト広告*1		web バナー広告*3	
	A4縦	A5横	A4縦	A5横	バナー(大)	バナー(小)
表2	110,000円		60,000円	30,000円	120,000円	60,000円
表3	100,000円					
表4	120,000円					
上記以外 (冊子本体末尾)	80,000円	40,000円				
プロモーションビデオ	広告またはwebバナーに追加 + 20,000円					
コマーシャル放映	プロモーションビデオ申込団体は希望セッション2つまで無料。 希望セッション2つ追加ごとに + 10,000円(本大会特別価格)					
オンライン展示					webバナーに追加 + 20,000円	

*1 1枠あたりの料金です。

*2 大会ホームページおよびオンライン学会サイトにも掲載します。その料金も含まれています。なおこれらの媒体では表紙とプログラム集本文1ページとの間に、表4、表2、表3、「上記以外」の順に掲載します。

*3 広告主様にて掲載用画像ファイルを制作頂く場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので、別途お問い合わせください。

申込方法

大会webサイトのフォームよりお申込みください。

広告原稿作成方法

申込受付後に書式などの詳細をご案内させていただきます。書式に沿ってプログラム集広告の場合は版下原稿を、webバナー広告の場合は電子ファイルを、プロモーションビデオ・コマーシャル放映の場合は動画ファイルを作成して頂きます。また、オンライン展示につきましては、会期中の希望日時および展示会場リンク先URLをご連絡頂きます。

広告料金支払方法

口座振込にてお支払い頂きます。振込口座等は申込受付後に実行委員会よりお知らせ致します。

注意事項

■掲載の取消し

掲載申込の受付後は、本会が不可抗力と認めたもの以外の掲載取消しはできません。したがって、広告料金の返却は致しません。原稿送付期限に遅れて送付された原稿は掲載できません。この場合、本会が不可抗力と認めたもの以外の広告料金は返却致しません。掲載申込の受付後でも掲載内容に問題があると本会が判断した場合には掲載をお断りすることがあります。この場合、広告料金は返却します。

■掲載位置

プログラム集内での広告掲載位置によって料金が異なります。表2、表3、表4はお申込み先着順とします。それ以外は申込順を基本としますが、広告サイズ、申込数などを考慮して本会が決定します。

webバナー広告は申込順、プロモーションビデオおよびコマーシャル放映は五十音順を基本としますが、申込数などを考慮して本会が決定します。

問合せ先

化学工学会第53回秋季大会実行委員会
E-mail: inquiry-53f@www3.scej.org

「上席化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2022年6月1日(水)～30日(木)

(一次)書類提出期限：2022年6月30日(木)

(二次)論文提出期限：2022年8月15日(月)必着

(三次)面接審査日：2022年10月15日(土)

合格発表：2022年11月中

「上席化学工学技士」とは、化学工学に関連した知識をベースに、特に高度な専門的应用能力を必要とする化学技術に関する業務(研究、技術開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、技術管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など)を指導的立場で行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます(退会と共に失効します)。

能力水準

化学工学・プロセス工学の幅広い知識と経験を有し、俯瞰的な解析・決定ができること。

受験資格

- (1) 化学工学会の個人正会員であること。会員外の方は事前に会員申込を行って下さい。(コンビニでの支払いの場合、申込申請から入金確認ができるまでに約3週間要する場合があります。クレジット払いの場合は、即時に入金確認できます)。
- (2) 化学技術の分野の中で高度な専門性を持ち、また、その分野においては社会から専門家として認められるような能力があり、更に技術指導ができる能力を有すること。
- (3) 化学工学を含む化学技術分野の専門的業務に携わり、15年以上の実務経験を有すること(但し、化学工学技士の資格があれば10年で受験可)。
- (4) 上述の専門的業務は、以下の何れかの職種において、高度な専門的应用能力を必要とする業務を含むものであること。
 - (職種) 研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など
- (注) 学校教育法の大学院修士課程又は博士課程(化学工学関連分野専攻に限る)に在学していた方は(2)の実務経験に2年を限度として算入することができます。

試験内容 一次～三次まで審査があります。

(一次)書類審査

書類審査では、以下の提出内容に基づき、受験資格要件を満たしているかどうかの判定を行います。

業務履歴(事業者の証明印必要)用紙はホームページよりダウンロードして下さい。

社内外の化学工学に関する活動リスト(社外発表、社内発表、特許、論文、雑誌投稿、学会活動、本の執筆、講演会講師等)を書き切れない場合は、別途に記載しても構いません。但し、提出時には1つのファイルとして下さい。

(二次)論文審査

書類審査合格者に対して、①課題論文と②業務論文による論文審査を実施します。

課題論文：所定のフォームでA4用紙2枚以内
業務論文：所定のフォームでA4用紙3枚以内
 (注)枚数と提出期限を守って下さい。

課題論文は、出題された課題に対して論文を提出して頂きます。高度な専門知識およびその应用能力があるかどうかを判定するものです。但し、A4用紙2枚以内厳守。

業務論文は、次に示す3つの事項に関してまとめて頂きます。但し、(1)～(3)をまとめて、A4用紙3枚以内厳守。

- (1) 技術実績：A4用紙2枚以内厳守
- (2) 専門技術：A4用紙0.5枚以内厳守
- (3) 指導力：A4用紙0.5枚以内厳守

(三次)面接試験

論文審査合格者に対して、面接試験を実施します。

内容：課題論文、業務論文および資格要件(業務履歴、活動リスト、資格)に関する質問
 面接は、MS Teamsによるオンライン面接です。
 面接者が多数の場合は、翌16日(日)にも面接を実施する可能性があります。

資格取得のメリット

1. 名刺に「上席化学工学技士(Senior Professional Chemical Engineer)」と刷ることができ、特に海外では化学工学会が認めた高度な専門技術を有する有能な技術者として認知されます。
2. 上席化学工学技士交流会(東京、大阪)での情報交換やディスカッションを行うことができます。

受験料(消費税10%込)

受験時に個人正会員であることが必要です。

「化学工学技士」保有：

22,000円(本体20,000円)

「化学工学技士」非保有：

27,500円(本体25,000円)

化学工学技士保有者とは、認定期間中の認定証を保有している方(試験に合格した後、登録と更新を完了させている方)を指します。認定期間を終えている方は対象外となります。

申込方法 化学工学会ホームページ(<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ(https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2022年 上席化学工学技士 申込受付」を選択し、お申込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

※申込の際に、(一次)書類審査に必要な業務履歴証明書を添付して頂きます。事業者(人事部長または人事部長に相当する方)の証明印が必要ですので、事前に書類をご用意下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
 資格制度委員会事務局 「上席化学工学技士」係

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: qualification“アットマーク”scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2022年6月1日(水)～7月20日(水)

試験日時：2022年8月20日(土)10:45～16:45

試験会場：東京、大阪

合格発表：2022年11月中

「化学工学技士」は、化学工学に関連した専門的応用能力を必要とする化学技術に関係する業務(研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理)を行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます(退会と共に失効します)。

2022年度も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を充分に取り、試験会場にて筆記試験を行う計画です。受験資格は問いませんので、多くの方が受験されることを期待いたします。

試験会場

東京会場：KFC Hall & Rooms KFC Hall 2nd
東京都墨田区横綱1-6-1 国際ファッションセンタービル 2F
<https://www.tokyo-kfc.co.jp/access/>
大阪会場：大阪科学技術センター 7F 700号室
大阪市西正観本町1-8-4 大阪科学技術センター
<http://www.ostec.or.jp/access.html>

資格取得のメリット

1. プレミアム講座「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」に参加できます。(2022年度から「しごとの常識」塾を「知的生産性を高めるチームづくり」講座にリニューアルして実施します。)
2. 化学工学に関する知識・能力を持っていることをアピールできます。また、転職の際に活用することができます。
3. 上席化学工学技士受験に必要な実務経験年数が短縮(15年⇒10年)されます。
4. 上席化学工学技士試験を割引価格【27,500円→22,000円(2022年度)】(消費税10%込)で受験できます。

試験内容 筆記試験により審査します。実務経験10年程度の能力が目安となります。筆記試験では、化学工学一般、専門知識、及び、その応用能力があるかを試験します。

試験は休憩時間を挟み、第一部試験と第二部試験に分かれております。

第一部試験(11:00～12:30)

化学工学の基礎的な能力を問う問題で、「化学工学技士(基礎)」資格認定試験相当です。

出題は、プロセス収支、流動、伝熱、反応、分離技術の5分野より各1題です。

「化学工学技士(基礎)」資格保有者は、第一部試験を合格したものとみなし、受験を免除されます。

(「化学工学技士(基礎)」資格の認定期間は、取得から8年間限定です。2013年度以前の取得者は既に失効致しました。)

参考書等の持ち込みは禁止されております。

第二部試験(13:45～16:45)

1. 課題解決・設計問題【3題解答(内1題必須)】

(60点)

「化学工学技士」として業務で遭遇する問題を解決するために必要な基本的知識や対応の仕方などを問う。数値を議論し、化学工学的な思考を問う問題1題(必須)も含む。

2. 用語説明【3題選択回答】(15点)

「化学工学技士」として知っていて欲しい技術用語の説明、及び、実務での使用例を簡潔に記述。

3. 技術課題と技術動向(25点)

「化学工学技士」として関心を持って欲しい技術課題や技術動向についての見解を自らの実務経験と照らし合わせて論述。

新技術、安全、環境、資源・エネルギー分野や人材育成などについて、与えられた課題の中から1課題を選択し、小論文(1,200字以内)を作成。

※第一部試験の合格と第二部試験の合格を両方合わせて、「化学工学技士」試験の合格といたします。

※合格者に対して、評価(S, A, B, C)を設け、本人にフィードバック致します。

※試験詳細と過去の試験問題は、ホームページ(<https://www.scej.org/qualification/shikaku-gishi.html>)をご確認下さい。

学習内容及び参考図書

■第一部試験

参考図書 次の図書などを参考にして学習して下さい。

- ・「解説化学工学 改訂版」(培風館)
- ・「改訂新版 化学工学通論Ⅰ」(朝倉書店)
- ・「化学工学 改訂第3版-解説と演習- 化学工学会 監修」(朝倉書店)
- ・「化学工学概論」(産業図書)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学工学会編」(アグネ承風社)
- ・「基礎化学工学」(共立出版)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館)
- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人)
- ・「現代化学工学」(産業図書)
- ・「実例で学ぶ化学工学 課題解決のためのアプローチ 化学工学会教科書委員会編」(丸善出版)
- ・「新版 化学工学の基礎」(朝倉書店)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版)
- ・「標準化学工学」(化学同人)
- ・「標準化学工学Ⅰ-収支・流体・伝熱・平衡分離-」(朝倉書店)
- ・「標準化学工学Ⅱ-反応・制御・速度差分離-」(朝倉書店)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人)

※その他、79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考にして下さい。

■第二部試験

※課題解決・設計問題

実務上の経験や継続教育講座(4号会告6～15ページ参照)のテキストや修了レポートなども活

用して整理して下さい。

*用語説明

化学工学の関連する基礎的な用語を学習して下さい。

*最近の技術課題および技術動向

化学工学誌10月号「化学工学年鑑」など。

受験料(消費税10%込)

受験資格		受験料
化学工学技士(基礎)保有者	個人会員	8,800円 (本体 8,000円)
	個人会員以外	22,000円 (本体 20,000円)
化学工学技士(基礎)非保有者	個人会員	16,500円 (本体 15,000円)
	個人会員以外	29,700円 (本体 27,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ(<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ(https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2022年 化学工学技士 申込受付」を選択し、お申込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

“継続教育ポイント”による受験について

「継続教育」各講座の受講と修了レポートや化学工学技士(基礎)取得によって“継続教育ポイント”を獲得できます。また、獲得した“継続教育ポイント”の合計が100ptに達した受講者には、100ptにつき1回、「化学工学技士」資格認定試験を受験する機会を無料で提供しております。

“継続教育ポイント”の獲得に関する詳細は、4号会告7ページをご確認下さい。

正会員の方はマイページの『受講ポイント閲覧』に“継続教育ポイント”が表示されております。(「参加行事閲覧」には、受講履歴及び各行事におけるポイントの明細が表示されています。)

個人で会員になられていない方(例えば、法人会員の社員)で、自らの獲得ポイントをご確認したい方は、同姓同名を判別するために、氏名、ふりがな、会社名、生年月日、E-mailアドレスを明記の上、jinzai-seminar “アットマーク” scej.org までメールでお問い合わせ下さい。所定の要項を記してご連絡頂けましたら、取得した“継続教育ポイント”と、『参加申込(会員の方)』の青色のボタンから入るために必要なIDとPWをお伝えします。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification@attomark.scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学工学技士(基礎)」試験 案内

試験申込期間：2022年7月21日(木)～8月31日(水)13:00 厳守

試験日時：2022年10月1日(土)12:45～16:45

試験会場：調整中。詳細は試験申込サイトでご確認下さい。

(参考)2021年会場地：札幌、仙台、桐生、東京、横浜、浜松、名古屋、京都、大阪、徳島、岡山、東広島、宇部、福岡、宮崎、鹿児島

合格発表：2022年11月中

「化学工学技士(基礎)」資格は、化学工学の基礎知識に関する筆記試験を行った上で、化学工学に関連した専門的応用に関する業務に携わるための十分な化学工学基礎知識を有していることを、化学工学会が認定する資格です。技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期間(8年)を設けています。

2022年度も新型コロナウイルス(COVID-19)対策を充分に取り、試験会場にて筆記試験を行う計画です。受験資格は問いませんので、多くの方が受験されることを期待いたします。

なお、Webから試験申込をする際に、ホームページよりダウンロードした『化学工学技士(基礎)受験本人確認書』を併せて送付して頂きます。写真が必要になりますので、申込前にご用意下さい。

また、会員資格での受験には、入会申込登録が完了し、且つ、年会費の支払が完了している必要があります。受験前に入会を予定している方は、お早めに入会手続きをして下さい。

Webから入会フォームに登録すると、登録されたメールアドレスに「公益社団法人化学工学会入会申込確認メール」が届きます。仮登録完了のメールなので、1時間以内に本文の本登録用URLをクリックしないと手続きが完了しません。(1時間以上経過した場合は、Web登録から手続きやり直して下さい。)

本登録が完了した方には、会費請求書が送付されます。会費のお支払いは極力、即日入金確認になるクレジットカード決済をお願いします。(COVID-19対策で担当者が在宅勤務のため、請求書の発送に最大1週間、払込取扱票でのお支払いで入金確認に最大3週間、併せて入会登録から入金確認まで最大1ヶ月かかる場合があります。)

入金確認が完了すると、「化学工学技士(基礎)」への申込ができるようになります。入金確認はマイページにログインしてご確認できます。本登録完了時に送信されたIDとPWでログイン後、会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで下さい。

「請求入金情報・クレジット決済」の「請求履歴」で、2022年度の入金済金額に金額が入っている場合は完了しており、申込ができる状態です。2022年度の入金済金額が0の場合は完了してありません。

なお、大学3年生以下はジュニア会員に該当します。

資格取得のメリット

1. 化学工学に関する基礎知識・能力を持ってい

ることを強くアピールでき、学生の場合は就活を有利に展開することが可能です^{*1}。

2. 化学工学技士試験の際、第一部試験(計算問題)を合格したものとみなし、受験を免除されます。また、それに伴い、割引価格で受験できます^{*2}。

3. 「知的生産性を高めるチームづくり」講座(2022年度開講)に参加できます。

4. 化学工学技士受験までの一定期間、一部の講座を割引価格で受講できます^{*3}。

5. 企業で活躍されている方々も「技術者の健康診断」として活用することができます。

※1 毎年、企業への周知活動を行っており、社内教育に活用される企業も増えています。

※2 個人正会員は受験料【16,500円→8,800円[消費税10%込]】、会員外の方は受験料【29,700円→22,000円[消費税10%込]】(2022年度)。

※3 継続教育セミナーの「プロセス設計」講座の化工物性、蒸留計算編、塔・槽、熱交換器の設計編、ハイドロリックの設計編、プロセス基本制御とPFD作成編、「反応器の設計」講座、「化学物質の安全・安全実技体験」講座、「プラント計装制御-I」講座の7講座では、化学工学技士(基礎)資格保有者を対象に、正会員の半額で受講できる「技士基礎割引」を実施しています。(2022年度)

但し、「技士基礎割引」は、以下の条件を満たす方が対象となります。

①化学工学技士(基礎)試験に関する手続きを完了していること。

②正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認し、登録内容を更新して下さい。)

③卒業または修了後5年以内の社会人であること。入社後に技士(基礎)を取得された社会人も対象となります。

参考図書 次の図書などを参考にして学習して下さい。

- ・「解説化学工学 改訂版」(培風館)
- ・「改訂新版 化学工学通論I」(朝倉書店)
- ・「化学工学 改訂第3版-解説と演習- 化学工学会監修」(朝倉書店)
- ・「化学工学概論」(産業図書)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学工学会編」(アグネ承風社)
- ・「基礎化学工学」(共立出版)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館)

- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人)
- ・「現代化学工学」(産業図書)
- ・「実例で学ぶ化学工学 課題解決のためのアプローチ 化学工学会教科書委員会編」(丸善出版)
- ・「新版 化学工学の基礎」(朝倉書店)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版)
- ・「標準化学工学」(化学同人)
- ・「標準化学工学I-収支・流体・伝熱・平衡分離-」(朝倉書店)
- ・「標準化学工学II-反応・制御・速度差分離-」(朝倉書店)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人)

※その他、会誌79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考にして下さい。会員専用ページの電子図書館をご利用下さい。

受験料(消費税10%込)

受験資格		受験料
学生	会員	3,300円(本体3,000円)
	会員以外	11,000円(本体10,000円)
社会人	個人会員	8,800円(本体8,000円)
	個人会員以外	22,000円(本体20,000円)

COVID-19への対応

なお、試験会場設置地域のCOVID-19の状況によっては当該試験会場での試験を中止することがあります。その際は当該試験会場受験者には受験料を返金します。

申込方法 化学工学会ホームページ(<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ(https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2022年 化学工学技士(基礎) 申込受付」を選択し、お申込み下さい。申込後、払込取扱票をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局「化学工学技士(基礎)」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

人材育成センター

第48回経営ゼミナール(2022) ー明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ！～

主催 化学工学会人材育成センター経営ゼミナール委員会

本ゼミナールは、社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成を目的として1975年に開講致しました。開講以来、各界一流の講師による講話、参加者相互間の触れ合い・研鑽の場として開催した結果、2021年までに1,800名弱の方々にご参加頂き、参加者各位から中核経営者育成の場として高く評価頂いております。

日時 2022年8月26日(金)～11月26日(土)
の8日間

参加費[消費税10%込]

個人会員・法人会員

308,000円(本体 280,000円)

会員外 418,000円(本体 380,000円)

募集定員 45名(定員になり次第締切)

申込先 ブラウザに直接下記URLを入力して頂くか、化学工学会ホームページより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申込」と辿って頂き、行

事リストからお申込みください。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/scej/849

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
経営ゼミナール委員会 事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: keiei-seminar“アットマーク”scej.org

セッション	月日	演題	講師	会場
東海	8月26日 (金)	各自食事をもって12:30集合	(株)ラポール 代表取締役 梶原美保氏	邦和 セミナー プラザ (名古屋)
		開講挨拶、オリエンテーション(自己紹介等)		
		①「未定」		
		グループ討議		
東海	8月27日 (土)	夕食/懇談会	X-TANK コンサルティング CEO ハイドリック・アンド・ストラグルズ パートナー 伊藤嘉明氏	邦和 セミナー プラザ (名古屋)
		グループ討議		
		②「VUCA時代の生き残りをかけて ～イノベーション・変革を起こし続けるためのアプローチ～」		
		昼食		
習志野	9月30日 (金)	グループ討議	相模女子大学大学院 特任教授 白河桃子氏	トーセイ ホテル& セミナー 幕張 (習志野)
		夕食/懇談会		
		③「ミドルの活用、ミドルの意識改革をどう進めるか」		
		グループ討議		
習志野	10月1日 (土)	夕食/懇談会	静岡ブルーレヴズ(株) 代表取締役社長 山谷拓志氏	トーセイ ホテル& セミナー 幕張 (習志野)
		④「強い組織をいかにつくるか」		
		グループ討議		
		昼食		
関西	10月28日 (金)	グループ討議	ディズニールランド伝説のトレーナー／ 最恐の上司 町丸義之氏	ダイセル 西播磨研修 センター (相生)
		夕食/懇談会		
		⑤「ディズニールランド伝説のトレーナーが明かすミッキー・マウスに 頼らない本物の指導力～一流のモチベーションアップ術～」		
		グループ討議		
関西	10月29日 (土)	夕食/懇談会	前豊岡市長 中貝宗治氏	ダイセル 西播磨研修 センター (相生)
		⑥「小さな世界都市の実現と化学工業に期待すること」		
		グループ討議		
		昼食		
幕張	11月25日 (金)	グループ討議	経営コンサルタント、(株)加藤経営 代表取締役 加藤芳久氏	クロス ウェーブ 幕張 及び WBGクラブ ラウンジ (千葉)
		夕食/懇談会		
		⑦「未定」		
		グループ討議		
幕張	11月26日 (土)	全体発表(グループ毎に発表)	SDGパートナーズ 代表取締役CEO 田瀬和夫氏	クロス ウェーブ 幕張 及び WBGクラブ ラウンジ (千葉)
		⑧「新たな資本主義とは？ その時あなたの会社は?? ～SDGsの 本質から読み解く～」		
		ゼミ終講式		
		WBGクラブラウンジに移動後、交流会		

現在、調整中のため、スケジュールが若干変更される可能性があります。

最終版はHPでご確認ください。

オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編 (改定第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2022年6月7日(火)、14日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では、ハイドロリック設計に関するプロセス設計の基礎について、講義では演習問題を手計算で解きながら学び、更に実習(オプション)で理解を深められます。

受講のメリット

- (1) ハイドロリックの計算原理、圧力損失計算、配管サイズの決め方、ポンプの基礎を学べます。
- (2) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(5月31日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (3) オプション実習ではベルヌーイ実証実験、流動実習、ポンプキャビテーション実験、水撃実験で学べます。また、展示室のポンプ、コンプレッサー、制御弁、バルブのカットモデルを見学でき、その内部構造を学べます。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

実習以外の講義をMicrosoft Teamsを利用したオンラインで、また、ハイドロリック実習(オプション)を対面で、以下のスケジュールで開催致します。

オンライン開催になりますが、目安として講義90分につき休憩15分程度を取りながら、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。また、出光興産(株)技術研修センターで実施する際には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と手指消毒など、新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。

なお、以下URLに記した注意事項に同意頂けない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

オンライン開催時の注意事項

https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_COVID19_i.pdf

会場(対面開催時) 出光興産(株)技術研修センター
JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分(〒299-0107 市原市姉崎海岸26)

オリエンテーション 5月31日(火)11:00～30分程度

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日:6月7日(火)9:15～16:45

9. ハイドロリックの設計、設計演習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

第2日(オプション)【定員:12名】:6月14日(火)8:55～16:15

10. ハイドロリック実習に先立って(9:00～9:10)

11. ハイドロリック実習(9:10～16:15)

ベルヌーイ実証実験

流動実験

ポンプキャビテーション実験

水撃実験

※第2日目は対面開催となります。「緊急事態宣言」等が発令された場合は本実習を中止し、オンラインで予定している6/7座学のみで開催になる場合もございます。

講師 経験豊富なエンジニア

赤間貴朗氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスピプロジェクトカンパニー プロセステクノロジー本部プロセス技術部)

小山義成氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

鶴島真由美氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

溝口高生氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20 pt付与、更に修了証で10 pt加算します。

1日コースの方は受講証明書で10 pt付与、更に修了証で5 pt加算します(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)

申込締切 5月31日(火)9:00

受講料(消費税10%込)

(1日間)個人正会員<技工士基礎割*>

11,000円(本体 10,000円)

(1日間)個人正会員 22,000円(本体 20,000円)

(1日間)維持会員/特別会員の社員

27,500円(本体 25,000円)

(1日間)地区会員の社員

33,000円(本体 30,000円)

(1日間)会員外 38,500円(本体 35,000円)

【2日間】個人正会員<技工士基礎割*>

38,500円(本体 35,000円)

【2日間】個人正会員 49,500円(本体 45,000円)

【2日間】維持会員/特別会員の社員

60,500円(本体 55,000円)

【2日間】地区会員の社員

71,500円(本体 65,000円)

【2日間】会員外 82,500円(本体 75,000円)

*技工士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技工士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい。)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の「各種申込」の「講習会申込」と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/srms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: jinzai-seminar「アットマーク」scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学物質の安全・安全実技体験」 講座(第10回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2022年7月11日(月)～12日(火)

場所 シティ・イン茂原 会議室(7/11)

〒297-0029 茂原市高師737 TEL: 0475-26-1711

〈交通〉JR外房線 茂原駅東口出口より徒歩1分

三井化学(株)技術研修センター(7/12)

〒297-8666 茂原市東郷1900番地

TEL: 0475-22-0105

〈交通〉JR外房線 茂原駅下車タクシー5分、徒歩20分

特急: 10:00 東京駅[京葉線]発⇒10:54 茂原駅着(わかしお5号)

普通: 9:16 東京駅[京葉線]発⇒10:08 蘇我駅着/10:18 蘇我駅[外房線]発⇒10:49 茂原駅着

9:18 東京駅[総武線快速]発⇒9:58 千葉駅着/10:10 千葉駅[外房線]発⇒10:49 茂原駅着

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

初日のシティ・イン茂原 会議室では、出席者名簿と連絡先の提出を求められています。また、2日目の三井化学(株)技術研修センターでは、ソーシャルディスタンスの確保や不織布3層構造マスクの着用と手指消毒など、新型コロナウイルス感染症対策が必要となります。本会ではそれらに従い開催致しますので、以下URLに記した『新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策』等にご同意頂けない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。ご協力よろしくお願い致します。

https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_COVID19_m.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学物質を扱う技術者・研究者(1～5年程度の実務経験者)
- ・化学物質取り扱い上の危険性、安全上の問題点について知りたい若手技術者

講習目標 化学物質による火災や爆発の危険性を分類し、それぞれ物質の危険性、取り扱い上の問題点などの基礎的な知識を身につけて頂いた後、これらを実験によって確認して頂きます。

受講のメリット

- (1) 化学物質の危険性や取り扱い上の注意を学べます。
- (2) 安全体験を受けることによって、「火災・爆発・静電気の危険性」に対する感受性と危険予知能力を高められます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。

講座内容

第1日:7月11日(月)11:05～18:00 堀口氏 於:シティ・イン茂原 会議室

諸連絡(11:00～11:05)

1. 危険物質総論(11:05～12:30)
化学物質の安全管理ー開発から廃棄まで、危険有害性化学物質の分類、SDS、GHS<昼食(12:30～13:30)>各自ご昼食をお取りください。
2. 化学物質の燃焼・爆発危険性(13:30～14:55)
高圧ガスの燃焼性、爆発性、液体の燃焼性、爆発性、固体の燃焼性、爆発性、静電気による着火・爆発危険性とその管理、自己反応性、自然発火性、混合危険性
3. 燃焼・爆発危険性の指標と測定法(15:05～16:25)
爆発範囲と爆発限界、発火および引火、消炎距離および最大安全すきま(MESG)、最小発火エネルギー、爆発指数、燃焼熱、酸素バランス、CHETAH、REITP3を用いた危険性評価

4. 燃焼・爆発以外の危険性と対策(16:35～)
金属腐食性, 健康有害性, 作業環境測定,
曝露防止対策
5. 反応暴走の危険性(～18:00)
反応の暴走, 危険性の高い主な反応

第2日: 7月12日(火) 9:00～12:00 於: 三井化学(株)茂原工場/技術研修センター

※技術研修センター玄関(茂原工場正門より2, 3分)に8:50までにご集合ください。
写真入りの身分証明書をお持ちください(運転免許証, 写真入り社員証など)。
忘れた場合には, 入門できませんのでご注意ください。

6. 安全体験「火災・爆発・静電気」実習
3要素(可燃物, 支燃物, 着火源)が揃うと燃焼が起こり, 条件により火災・爆発に繋がることが実験で知る。その怖さを体感し, 防止方法の基本を学ぶ。

静電気が容易に発生し着火源となることを実験で理解し, その対策と効果を体感する。

講師 安全分野で経験豊富な研究者・技術者
堀口貞慈氏(元(独)産業技術総合研究所 爆発安全研究センター)

三井化学(株)研修担当者

受講証明書 出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また, 修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)

申込締切 6月10日(金)※事前登録がない方はご入場できません。

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割>

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 33,000円(本体30,000円)

維持会員/特別会員の社員

44,000円(本体40,000円)

地区会員の社員 55,000円(本体50,000円)

会員外 66,000円(本体60,000円)

*技士基礎割は, 以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認, 更新して下さい。)
3. 卒業または修了後2年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の「各種申込」の「講習会申込」と巡って頂くか, 下記URLをブラウザに直接入力して頂き, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail: jinzai-seminar@attmark.scej.org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

2022年度インターンシップのご案内

主催 化学工学会人材育成センター高等教育委員会

化学工学会では「企業の中で, 化学工学の知識を活用できるテーマの研修を体験し, 化学工学の位置付けを理解すること」を目的としたインターンシップを, 2006年度から行っております。

特長

- (1) 化学工学の知識を活用できるテーマの研修です。
- (2) 主に, 夏期(7～9月)に, 2～8週間程度の研修を行います。
- (3) 学生間での情報交換を図るため, 報告会を行います。

申込資格

- (1) 化学工学会の会員であること。
- (2) 大学院生であること。
- (3) 指導教員の推薦状があること。

入会申込に関する諸注意

未入会の方は速やかに手続きして下さい。

Webから入会フォームに登録すると, 登録さ

れたメールアドレスに「公益社団法人化学工学会入会申込確認メール」が届きます。仮登録のメールなので, 1時間以内に本文の本登録用URLをクリックしないと手続きが完了しません(1時間以上経過した場合は無効になりますので, Web登録から手続きをやり直して下さい)。

本登録が完了した方には, 会費請求書が送付されますので, 郵便局またはコンビニでお支払い下さい(郵便局の場合, お支払い日から入金確認ができるまでに3日～1週間要します。コンビニの場合, 更に1～2週間要する場合がありますのでご注意ください)。

入金確認が完了するとインターンシップへの申込ができるようになります。

入金確認はマイページにログインしてご確認できます。本登録完了時に送信されたIDとPWでログイン後, 会員メニューの「請求入金情報・クレジット決済」情報に進んで下さい。

「請求入金情報・クレジット決済」の「請求履歴」で, 2022年度の「入金済金額」に金額が入っていれば完了しており, 申込ができる状態です。2022年度の「入金済金額」が0の場合は完了していません。

申込期間 2022年6月1日(水)～20(月) 13:00

厳守

申込方法 ホームページ(<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>)で「2022年度インターンシップ」を選択し, 「参加申込(会員の方)」のボタンよりお申し込み下さい。

※申込は1人1テーマのみです。

※申込の際に, 指導教員推薦状を添付して頂きます。事前に書類をご用意下さい。詳細はホームページよりご確認ください。

再マッチングについて

合否が判明次第, 希望者には学会よりご連絡します。

報告書の提出について

研修終了次第, 速やかに報告書を提出して下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
高等教育委員会「インターンシップ」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: internship_2022@attmark.scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

SCE・Net オンライン講座 「原子力・放射能基礎論 —放射線の健康への影響と 原子力発電の課題」

化学工学会 SCE・Netでは, 2022年6月に社会人向け公開講座(10講義)を, 「知の市場」(<http://www.chinoichiba.org/>)の関連講座として開講します。

本講座では放射線に関する基礎事項の講義を行うと共に, 健康への影響について詳しく解説します。更に, 原子力利用の課題についての体系的な知識を提供します。

今回の講座ではオンライン講義を採用しており, 受講登録をされた方を対象にZoomによるリモート講義を行います。

科目 VT465c「原子力・放射能基礎論」10講義(1講義100分)

本講座は原子力利用に関わる諸課題について

受講生と講師とが共に学び, 体系的な知識を習得することを目的としています。はじめに, 原子力利用の歴史および原子力発電の仕組みと安全確保の取り組みを取り上げ, 次に, 放射線による健康影響を考える上で鍵となる, 放射線量の計測方法や放射線防護体系について学びます。更に, 原子力に関わる課題である高レベル放射性廃棄物の処分と福島第一原子力発電所廃炉の現状を概説し, 最後に, 次世代原子炉として着目されている小型モジュール炉, 高温ガス炉や核融合炉などの進展について解説いたします。

日時 2022年6月4日～7月2日の土曜日(計5日)13:00～16:50

受講方法 オンライン(Zoom)によるリモート講義

対象 一般社会人(原子力, 放射線に関心のある方はどなたでも), 学生

募集定員 30名

募集期間 4月1日～6月10日 定員になり次第締め切ります。

受講料 無料

申込方法 「知の市場」の申込サイト(<http://chinoichiba.org/pg219.html>)より, 受講者登録を行ってください。登録されない場合には受講できません。登録者は資料のダウンロードが可能です。また, 登録者には後日Zoomアクセスサイトを事務局より連絡します。

その他 科目の詳細(講義テーマ, 講義概要, 担当講師, 日程, 受講申込方法など)については, SCE・Net ホームページ <http://sce-net.jp/main/kouza/kouka/>に掲載されています。

その他ご不明な点は, メールで yokobori@pluto.interq.or.jp(横堀 仁)までお問い合わせください。

部 会 C T

CVD 反応分科会主催第9回講演会
「ドライプロセスへの
超臨界CO₂流体の応用」

主催 化学工学会 反応工学部会 CVD 反応分科会, 化学工学会 超臨界流体部会, CVD 研究会

日時 2022年6月20日(月)15:00～17:00

会場 オンライン(Zoom 配信)

当分科会では、最先端の研究成果を共有し議論するシンポジウムや、CVD プロセスを体系的に学習する講習会に加え、研究者お一方にご自身の研究内容をたっぷり語っていただく講演会を開催しています。奮ってご参加いただければ幸いです。

講演概要

超臨界CO₂流体の利用は溶媒代替応用が一般的である。気相と液相の中間的性質を持たせられること、不活性で非電離・中性の媒体であることを思うに、ドライプロセスへの応用も有用であるだろう。薄膜形成(CVD代替)では超臨界CO₂媒体のもつ溶媒能や高拡散流束のため良好な段差被覆性や埋め込み性が確保できる。ドライエッチングは反応生成物を揮発させるが、超臨界CO₂流体を用いれば低揮発性の物質も除去しうる。本講演では、マイクロエレクトロニクス材料特に配線材料を主な例としてドライプロセスへの超臨界CO₂流体の応用を議論する。

講師 山梨大学大学院総合研究部 教授

近藤英一氏

定員 100名

参加費 無料(当分科会の会員でなくても参加可能, 参加費無料)

申込方法 Google フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/H3YKBW2aTw4JnzWC6>
分科会 Web ページからもリンクしています。
<http://www.2scej.org/cre/cvd/event.html>

申込締切 2022年6月13日(月)(ただし、定員になり次第締め切ります)

第36回シンポジウム
「ワイドバンドギャップ新材料の開拓」

主催 公益社団法人 化学工学会 反応工学部会 CVD 反応分科会

共催 CVD 研究会, Cat-CVD 研究会

気候変動対策をはじめとしてワイドバンドギャップ半導体の実用化が広がっています。これに連動し、更に効率の良いパワーデバイスを視野に入れて、新たなワイドバンドギャップ材料の開発と開拓が進められています。そこで、本シンポジウムでは、現在と将来のパワーデバイスを展望した上で、研究・開発の進捗により可能性が高まった材料について最先端の動きを紹介し、将来と未来を議論します。併せて、新材料に対するCVD法の可能性についても考えます。

日時 2022年7月1日(金)13:00～18:00

場所 Web 開催(Zoom)

参加形態 リアルタイム参加

プログラム

12:30 開場

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:05 (基調講演)「ワイドバンドギャップ半導体の現状と新材料への期待」

パワーデバイスイネープリング協会

山本秀和氏

14:05～14:45 「β-Ga₂O₃結晶の気相エビタキシャル成長の現状と展望」

東京農工大学 熊谷義直氏

東京農工大学／大陽日酸(株) 池永正氏

気相成長(株) 石川真人氏

東京農工大学 後藤 健氏

東京農工大学 村上 尚氏

気相成長(株) 町田英明氏

(株)ノベルクリスタルテクノロジー 倉又朗人氏

(株)ノベルクリスタルテクノロジー 山腰茂伸氏

情報通信研究機構／大阪公立大学 東脇正高氏

14:45～15:00 休憩

15:00～15:40 「2インチ径ダイヤモンドCVD成長の機構と課題」

佐賀大学 嘉数 誠氏

アダマンド並木精密宝石(株) 金 聖祐氏

15:40～16:20

「窒化アルミニウムの結晶成長とデバイス応用」

山口大学 岡田成仁氏

16:20～16:35 休憩

16:35～17:15 「六方晶窒化ホウ素のCVD成長から2.5次元物質科学へ」

九州大学 吾郷浩樹氏

17:15～17:55 「CVD・ALD用ガリウムブリカーサー」

(株)高純度化学研究所 水谷文一氏

17:55～18:00 閉会挨拶

シンポジウムオーガナイザー

羽深 等(横浜国立大学)

筑根敦弘(大陽日酸(株))

百瀬 渉(ALD ジャパン(株))

参加費(税込) 化学工学会 CVD 反応分科会法人賛助会員 無料, 化学工学会 CVD 反応分科会個人会員 2,000円, 化学工学会 反応工学部会会員 3,000円, 化学工学会会員 4,000円, CVD 研究会会員 4,000円, Cat-CVD 研究会会員 4,000円, 非会員 10,000円, 学生 無料

注意

- ・参加費はクレジットカードにてお支払いください。
- ・参加者による録画・録音は参加形態によらず一切禁止とします。
- ・講演内容のオンデマンド配信は行いません。
- ・会議URLならびに講演資料は参加申込者へのみ開催日前日にメールにてお送りします。
- ・懇親会は行いません。

申込方法 下記のWebサイトよりお申し込みください。また、doorkeeper.jpドメインからのメールを受信可能としておいてください。

<https://cvd-hannoubunkakai.doorkeeper.jp/events/136606>

アクセスできない場合には、(1)氏名、(2)所属、(3)連絡先E-mail、(4)参加資格(所属学会等)を明記の上、cvd@scej.orgまでメールにてお申し込みください。

申込締切 6月27日(月)正午 厳守(Web開催のため締め切り後の申し込みは一切できません。また、定員300名に達し次第、申し込み受付を終了いたします。)

問い合わせ先 CVD 反応分科会事務局

E-mail: cvd@scej.org

地 域 C T



東 北 支 部

第24回先端研究発表会・講演会

主催 化学工学会東北支部、宮城化学工学懇話会

日時 2022年7月9日(土)

会場 東北大学青葉山東キャンパス 化学・バイオ工学科中講義室(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6)

近年、研究成果の量を重んじるあまり、結果を深く掘り下げて考える時間を十分に取れないまま日々研究を進める状況が多く見受けられます。また、口頭発表を通じて若手研究者が自ら気づく機会が少なくなっている現状もあります。これらのことが先端研究の先進性や萌芽段階としての「気づき」の機会の損失につながるものが危惧されます。そこで化学工学会東北支部では、宮城化学工学懇話会との共同主催で、東北地方および東北地方以外の地方から、先端研究に関連する口頭発表を募集します。

先端研究といっても様々です。当研究発表会では、研究結果のインパクトや完成度よりも、テーマの先端性や、着眼点の先端性、結果の先端性、手法の先端性、など今後の発展を予感させる、様々な切り口での「先端」の話題を期待するとともに、若手学生や研究員の研修の場としても活用いただき、将来、国際的な化学工学研究が期待できる人材の育成を目指す発表会とします。

また、今回は化学工学会主催のChemical Energy Car (Chem-E-Car) コンテストに関する講演会を実施、その内容と参加経験のご紹介を受けて、ワークショップ形式でChem-E-Carを題材に化学反応の制御とシステム化を議論し、さらに、新たなChem-E-Carコンセプトをチームワークで探索する場を準備いたします。これを通じて、若手の交流と人的ネットワークの形成を目指します。

発表会 13:00～(申込件数に応じて変更の可能性あり)

対面開催(コロナの状況によりハイブリッドやオンライン実施の可能性あり)

講演会 16:00～ 対面とオンラインのハイブリッド開催

「Chemical Energy Car: 化学反応の制御とシステム化について話そう」

演者 二井 晋氏(鹿児島大 教授)

筈居高明氏(東北大 准教授)

松原正樹氏

(東北大 講師/仙台高専 准教授)

注: なお、講演をうけたワークショップ(グループワークと簡単な報告)を講演後に行います。

参加費 一般:2,000円、非会員:4,000円、学生:無料

発表の形式 口頭発表(発表9分、質疑5分、交代1分を予定していますが、申込件数によっては各時間を変更する場合があります)。発表スライドは日本語でも構いません。

感染防止対策 研究発表会、講演会を通じてマスク着用、換気の状況などに注意を払って実施します。必要に応じて、会場である東北大学のBCPレベルで要求される措置をとり、安全第一で柔軟に実施いたします。状況は、下

記ホームページ等を通じてアナウンスいたします。

発表申込方法 東北支部のホームページ (<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>) から申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp 宛でお申し込み下さい。発表要旨(書式は後日ホームページに掲載)も合わせてご提出いただきます。なお発表会の表彰式は講演会、ワークショップの終了後に行います。

発表申込・要旨提出締切 6月17日(金)

発表会への参加申込方法 参加者のお名前、所属、連絡先(E-mail、TEL等)を記入の上、E-mailにて下記連絡先までお申し込み下さい。

参加申込締切 6月30日(木)

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学工学部化学・バイオ工学科内

化学工学会東北支部事務局

E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp

発表申込やオンライン接続に関する詳細は後日、東北支部のホームページ (<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>) に掲載いたしますのでご参照下さい。



関 東 支 部

第63回 関東技術サロン講演会
「日本酒製造における
データサイエンスの活用」

主催 (公社)化学工学会関東支部

山口県岩国市の旭酒造は、杜氏がいな体制で、製造工程におけるデータ管理を徹底し、年間を通じた酒造りを行っています。銘酒「瀬祭」の製造元といえば、思い当たる方も多いかと思います。データ管理やデータ分析を活かした作業工程のマニュアル化を通して、優秀な杜氏が行っていた酒造りを再現し、安定に均一な品質の酒造りを実現しています。さらに、原料となる「山田錦」の契約栽培農家に情報通信技術(ICT)を導入して、生産量増加と安定的な調達に向けた取り組みなど、新たな技術開発にも取り組んでいます。このような取り組みは、今後迎える高齢化社会での人手不足や、熟練の匠の経験知の伝承といった、日本が直面する課題に取り組む先例となりうると考えられます。先行する成功事例として、旭酒造の取組みについてご講演いただきます。

今回はオンライン講演となりますので、講演会後半の意見交換においてはマイクを通した直接の質疑応答以外に、チャットからの質問についても講師 桜井博志氏からご返答・ご意見をいただく予定です。多くの方のご参加お待ちしております。

日時 2022年6月24日(金) 16:30～18:00(講演・ディスカッション)

開催方法 オンライン講演(Zoom)

プログラム

16:30～16:35 関東支部 第3企画委員長 開会挨拶

16:35～17:35 講演「日本酒製造におけるデータサイエンスの活用」

17:35～18:00 意見交換

講師 旭酒造(株) 会長 桜井博志氏

同意事項 今回、オンライン開催のため、申し込みにあたり、以下のことに予めご同意ください。

・スクリーンショット等の画面撮影および録画録音等は一切禁止します。

・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行っていただきますようお願いいたします。

申込方法 下記の化学工学会 関東支部HP又はFAX送信でお申し込みください。

関東支部HPから申込み場合、<http://www.scej-kt.org/> の次回行事開催一覧の「関東技術サロン」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。オンライン参加Zoom URLについては、お申込みいただいた方に個別にご連絡します。参加請求書をご希望の方には請求書も併せてお送りします。

第8回「初心者のための化学工学入門」
オンライン講座

主催 (公社)化学工学会関東支部

共催 (公社)化学工学会 SCE・Net

企業で生産あるいは技術開発などに従事されて、業務上化学工学の知識や考え方が必要であるにもかかわらず、大学、高専などで化学工学を学んで来なかった、あるいは十分に学べなかった初心技術者を対象にした講座です。化学工学の基礎的な考え方や実用的な計算を身につけていただくことを目的に開催致します。

講師は化学工学会SCE・Netに所属する化学工学技術者が当たり、自らの実務経験を反映させて分かり易い解説を行います。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「反応工学」、「分離工学Ⅰ(蒸留)」、「分離工学Ⅱ(ガス吸収・膜分離)」の6テーマとします。

学習効果を最大限に高めるために、以下の準備をお願いします。

- 事前学習(約3時間程度)
 - ①オンデマンドビデオを用いたビデオを聴講する(聴講時間:1.5時間程度)
 - ②ビデオ聴講後、演習問題を行う。
- オンライン講座(90分)

事前学習教材のポイント解説と、追加演習問題、質疑解説を行う。

企業の人事・教育をご担当される方々におかれましては、化学工学を学んで来なかった技術者の方々の教育に、ぜひ「初心者のための化学工学入門」をご活用下さい。受講の際には、受講生が事前学習を確実に実施できるよう、ご配慮をお願いします。

日時 2022年7月1日(金)、8日(金)、15日(金)

会場 オンライン(Zoom)

プログラム

第1日目 7月1日(金)

・13:00～14:30 化学工学の基礎入門 金原聖氏

・15:00～16:30 流体工学入門 宮本公明氏

第2日目 7月8日(金)

・13:00～14:30 熱工学入門 山本一己氏

- ・15:00～16:30 反応工学入門 紫垣由城 氏
第3日目 7月15日(金)
- ・13:00～14:30 分離工学Ⅰ(蒸留)入門 竹内
亮 氏
- ・15:00～16:30 分離工学Ⅱ(ガス吸収・膜分離)
入門 中尾 眞 氏

ご準備いただく物 受講の際には、事前演習の
結果、筆記用具、電卓をご用意ください。

募集人員 50名

注意事項 ZoomとVimeoへのアクセスが必要で
す。VIMEOへのアクセスが可能かを以下の
URLからご確認の上、お申し込みください(社
内のネット環境によりアクセスできない場合
があります)。
<https://vimeo.com/manage/videos/546611429>
パスワードは「videocheck」

事前学習 本研修では、事前学習が必須となり
ます。オンライン講義の約1週間前から、オン
デマンドビデオの聴講可能です。オンライン
講義では、事前学習を前提に解説を行います
。事前学習も本講座の一環として実施くだ
さい。

申込締切 2022年6月25日

参加費

化学工学会正会員	3日間(6テーマ)24,000円, 1日(2テーマ)12,000円
法人会員	3日間(6テーマ)30,000円, 1日(2テーマ)15,000円
会員外	3日間(6テーマ)36,000円, 1日(2テーマ)18,000円

*参加費には資料代および消費税を含みます。

支払方法 受付後、お送りする振替用紙にて事
前にお振り込みください。申込締切日後のキャン
セルの場合も参加費のご請求をさせていただ
きます。

申込方法

・Web申込み

関東支部HP(<http://www.scej-kt.org>)の次回行事
開催のご案内の『第8回初心者のための化学工
学入門』をクリック後、「参加申込みフォーム」
をクリックするとフォームのウィンドウが開
きますので、必要事項を記入の上、ご送信く
ださい。

・Fax、E-mailによる申込み

参加者氏名、勤務先(所属部署まで)、連絡先(郵
便番号、勤務先住所、電話番号、FAX番号)、
会員資格、ご希望のテーマを明記して下記ま
でお申し込みください。尚、請求書ご希望の
方は「請求書要」と明記してください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-
19 共立会館内 公益社団法人 化学工学会 関東
支部

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org

HP: <http://www.scej-kt.org>

第8回 ものづくり技術セミナー 「プラスチック資源循環に おける選別・リサイクル技術」

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 (予定) (公社)化学工学会 環境部会、開発
型企業の会

化学工学会関東支部では、ものづくりに関わ
る装置や技術を開発しているメーカーの方々を
お招きし、開発の経緯や元になった考え方をご
説明頂く『ものづくり技術セミナー』を開催して
おります。開発に纏わる生の話を企業で活躍さ
れている技術者の方々に聴講頂き、「ものづくり
技術の情報」を短時間で理解して頂く貴重な時間
になることと存じます。

第8回は「プラスチック資源循環における選別・
リサイクル技術」と題しまして、選別技術、ケミカ
ルリサイクル技術について講演を予定しておりま
す。プラスチックリサイクル技術にご興味ある技
術者の方々のご参加をお待ちしております。

日時 2022年7月26日(火)

講演13:00～16:25 WEB交流会16:30～17:30

会場 オンライン(詳細はお申し込み後にご案内
いたします)

プログラム

1. 開会の挨拶(13:00～13:05)
2. 講演1「プラスチック資源循環における選別技
術の役割と課題」(13:05～13:50)
産業技術総合研究所 大木達也氏
3. 講演2「光学選別を活用した新たな選別技術に
ついて」(13:50～14:35)
(株)富山環境整備 河村徳宏氏
- 休憩(14:35～14:50)
4. 講演3「流動床技術を活用した使用済みプラス
チックのケミカルリサイクルについて」(14:50
～15:35)
荏原環境プラント(株) 井原貴行氏

5. 講演4「廃プラスチック油化プロセスを用いた
プラスチックリサイクル」(15:35～16:20)
日揮ホールディングス(株) 島村卓宏氏
7. 閉会の挨拶(16:20～16:25)
8. WEB交流会(16:30～17:30)

募集人数 40名(定員になり次第募集を締め切り
とさせていただきます)

参加費 3,000円(参加費にはテキスト代・消費
税が含まれます)

東 海 支 部

第46回 基礎化学工学演習講座 (第3クール:1日単位・ライブ配信)

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催(予定) 静岡化学工学懇話会他

協賛(予定) (公社)日本水環境学会他

第2クールまでは、プラントの設計や運転に
は関わっているが化学工学を勉強する機会がな
かった初心者の方を主な対象としておりました
が、第3クールでは、更に専門的な知識を習得
したい技術者の方も対象に、原理や理論の説明
に加え、豊富な事例に基づく例題を解きながら
学べる機会を提供します。専門知識の習得だけ
でなく、装置設計への活用、運転条件の最適化
への一助としてご活用いただければ幸いです。

日程 2022年8月上旬～下旬(1日単位で受講
可能) 9:30～17:00(昼食休憩:12:45～
13:45)

開催方式 Zoomによるライブ配信を利用したオン
ライン方式

プログラム

第3クール(各種単位操作など)1日単位で受講可
能です。

8月8日(月) 攪拌・混合

午前 攪拌槽の構成、混合性能、スケールアッ
プ、異相系の攪拌

名古屋工業大学 加藤禎人氏
午後 攪拌・混合装置の設計と実際
東亜合成(株) 鈴木日和氏

8月9日(火) ガス吸収

午前 気液平衡、吸収、膜分離

名古屋工業大学 南雲 亮氏
午後 吸収装置の設計と実際

東亜合成(株) 勝尾智津氏

8月10日(水) 反応工学

午前 反応速度、反応器の分類と性能、生物
反応速度

岐阜大学 上宮成之氏
午後 反応装置の設計と実際

三井化学(株) 小瀧 泰氏

8月22日(月) プロセス制御

午前 プロセスと制御、動特性、過渡応答、
周波数応答

名古屋工業大学 米谷昭彦氏
午後 プロセス制御装置の設計と実際

三菱ケミカル(株) 福井創太氏

8月23日(火) 粉粒体操作

午前 粒子・粉体層の性質、粒子生成
大阪府立大学 名誉教授・(株)三進製作所
岩田政司氏

午後 粉粒体装置の設計と実際
新東工業(株) 天野寛之氏

8月25日(木) 蒸留

午前 気液平衡関係、相対揮発度
名古屋工業大学 名誉教授 森 秀樹氏

午後 McCabe-Thiele作図、特殊蒸留
日本リファイン(株) 小田昭昌氏

8月29日(月) 抽出・吸着

午前 抽出・吸着の基本理論と応用
名古屋大学 神田英輝氏

午後 抽出・吸着装置の設計と実際
三菱ケミカル(株) ハルジョ ベニー氏

8月30日(火) 調湿・乾燥

午前 絶対湿度、冷却減湿操作、定率乾燥
岐阜大学 板谷義紀氏

午後 乾燥装置の設計と実際
(株)大川原製作所 大石剛之氏

8月31日(水) 固液分離

午前 沈降分離、濾過、晶析の基本理論と応
用

名古屋大学 向井康人氏
午後 固液分離装置の設計と実際

(株)三進製作所 小栗秀一郎氏

対象 第2クールまでの初歩・基礎に相当する
内容を修めており、専門領域の理論から実践
的な事例を学びたい方、エネルギー管理士、
高圧ガス製造保安責任者等の国家試験資格の
取得を目指す方、化学工学技士(基礎)の資格
取得を目指す方。

定員 各日ごとに90名

(いずれも定員になり次第締切とさせていただきます。
企業向けの講座ですが、学生が受講
されても構いません。ただし、定員を超えた
際には企業の方を優先させていただきます。
申込者数が最少催行者数に到達しない講義に
ついては、開催しない場合があります。)

会員特典 化学工学会正会員、学生会員ならび
に法人会員会社社員の方は、本講座の受講者
に限り、テキストを特別販売いたします。

*利用するテキスト:『化学工学 改訂第3版』
(朝倉書店)税込2,750円→1,000円

テキストをお持ちでない場合は、参加費に
テキスト代を加えてお申し込み下さい。

参加の際のご注意

- 1) 関数電卓、定規を使用する場合がございます
のでご注意ください。
- 2) 本講座の配布資料や動画などは著作物のた
め、複写・録音・録画・転載・上映・無断公
開などの一切を禁止いたします。
- 3) 受講者様に起因する視聴トラブルについて
は、弊会は責任を負えませんのでご理解くだ
さい。

参加費(消費税を含む)

	第3クール (1日につき)
化学工学会正会員	10,000円
化学工学会法人会員会社社員	15,000円
共催・協賛団体会員	20,000円
学生会員	5,000円
会員外	30,000円

【注】第3クールは1日単位の受講形式です。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/> (開催1週間前を目途に、配布資料とテキストをお送りいたします。)

申込締切 各日いずれも開催日の2週間前まで

送金方法 銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521

コウエシヤダンゴウジン カウコウガクカイトウカイシブ
「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

コウエシヤダンゴウジン カウコウガクカイトウカイシブ
「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

<http://scej-tokai.org/>

TEL: 080-4525-3070

策について

(三洋化成)前田浩平

10月6日(木): 第4回【産学連携と知財戦略】

1. 産学連携を成功に導く知財戦略

(特許庁)進士千尋

2. 産学連携によるイノベーションの創出

(神戸大院科学技術イノベーション)坂井貴行

11月2日(水): 第5回【イノベーションと変革】

1. イノベーションを先導できる研究リーダーとは?

(医療基盤・健康・栄養研)近藤裕郷

2. 「月曜日が楽しいな会社にしよう!」研究開発の生産性を飛躍的に向上させ、イノベーションを加速する全体最適のマネジメント理論
TOC

(Goldratt Japan)岸良裕司

12月2日(金): 第6回【ビジョンと独創的な製品開発】

1. 創業への情熱ー睡眠薬ロゼレムの誕生秘話ー

(東和薬品)内川 治

参加費 主催団体会員 66,000円、共催団体会員 88,000円、会員外 110,000円 (1名参加分、6回通し受講のみ、消費税込)

※詳細はホームページ <https://kinka.or.jp/event/2022/27leader.html> をご参照ください。

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

(一社)近畿化学協会「研究開発リーダー実務講座」係

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685

E-mail: seminar@kinka.or.jp

<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=95555> よりお手続きください。送金方法は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。

留意事項

※対面式は参加人数を制限します。また、状況によりオンライン式のための開催となる場合がありますので、ご了承ください。

※パソコン・タブレット等のオンライン配信ツール利用に際しての必要な機材・設備は各自でご準備ください。

※発表者の許可がない限り、受信資料の保存・録音・再配布は固く禁じます。

※参加申込者には、8/1頃に会場案内、接続ID等の情報をE-mailにてお届けします。

※参加申し込みをせずに聴講することはご遠慮ください。

※『展示会出展募集要綱』をご入り用の方は下記までご請求ください。

問合せ先 (一社)近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

TEL: 06-6441-5531

E-mail: seminar@kinka.or.jp

<http://flowmicro.com/>

先端技術を支える単位操作シリーズ
粉体技術の最前線～粉碎・分級・シミュレーション～ 講演&見学会

主催 化学工学会関西支部

協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、粉体工学会、日本粉体工業技術協会、日本機械学会関西支部、粉体粉末冶金協会(予定)

日時 2022年8月19日(金) 13:00～17:00

場所 ホソカワミクロン(株)本社 大会議室(大阪府枚方市招提田近1-9)
(交通) 京阪電車「樟葉」駅より、京阪バスにて「国道田近」バス停下車(所要時間15分)

プログラム (質疑応答時間含む)

開会あいさつ(13:00～13:10)

1. 講演会(質疑応答含む)

1) 粉碎技術の最近の動向と今後の展開(13:10～13:40)

(阪大接合科学研)内藤牧男氏

2) 乾式分級操作の原理と環境プロセスにおける粒子成分調整への応用(13:45～14:15)

(広島大院先進理工)福井国博氏

3) 粉体シミュレーションの最新動向(14:25～14:55)

(大阪大院工)仲村英也氏

4) ホソカワミクロンの粉碎機、分級機またそのプロセスの紹介(15:00～15:30)

(ホソカワミクロン)東和田剛司氏

2. 見学会(同社テストセンター、測定分析室)、名刺交換会(15:40～17:00)

申込締切 8月3日(水)ただし定員(30名)になり次第締切ります。

※同業他社の方のご参加はご遠慮ください。

※コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止となる場合がありますので、ご了承ください。

参加費 主催・協賛団体個人正会員 14,000円、主催・協賛団体会員(法人) 16,000円、大学・公設機関 7,000円、学生会員 3,000円、会員外学生 5,000円、会員外 29,000円(テキスト代・消費税込)

関西支部

第27講研究開発リーダー

実務講座2022

ー企業の将来を担う理想の

研究開発リーダー像とは?ー

<対面式/オンライン式併用開催>

主催 近畿化学協会

共催 化学工学会関西支部

日時 2022年7月8日(金)、8月3日(水)、9月9日(金)、10月6日(木)、11月2日(水)、12月2日(金)、全6回各回13:00～18:30(予定)

開催方法 対面式: 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)

オンライン式: 「Zoom」を利用

プログラム (各回終了後、グループディスカッション、交流会(対面式参加者のみ)を開催)

7月8日(金): 第1回【研究開発リーダーのあり方】

1. 研究開発者が持つべき「商品力」とはーあなたが開発した商品はなぜ売れないのかー

(ケルセジェン・ファーマ/アルプス薬品) 小野光則

8月3日(水): 第2回【新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ】

1. 目撃証言 富士フィルムのトランスフォーマーショー

(富士フィルム)曾呂利忠弘

2. 科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ

(神戸大院経営)忽那憲治

9月9日(金): 第3回【人財を活かすマネジメント】

1. 研究開発マネジメントとダイバーシティ推進(ウェストコーナー)西田まゆみ

2. 三洋化成の社員のモチベーションを高める施

フロー・マイクロ合成研究会
第36回公開講演会ー講演&展示ー

主催 近畿化学協会合成部会フロー・マイクロ合成研究会

共催 化学工学会関西支部

日時 2022年8月5日(金) 10:00～17:10

開催形式 対面式: 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)

オンライン式: Zoomによるライブ配信

プログラム

1. 工業化を志向したフロー合成研究(10:00～11:00)

(阪公大院理)福山高英氏

2. ツインカラム連続クロマトグラフィーを用いたバイオ医薬品の効率的生産(11:05～12:05)

(ワイエムシ)黒田典孝氏

3. 出展企業プレゼンテーション(12:05～12:45)

4. メカノケミカル有機合成の可能性: 高速・溶媒削減・新反応(14:00～15:00)

(北大院工)伊藤 肇氏

5. Selectivity control by flow chemistry(15:05～16:05)

(Univ. of Rouen, France)Julien Legros氏

6. 有機電解合成の新展開: フローケミストリーや機械学習と組み合わせ何が出来るか?(16:10～17:10)

(岡山大院学術研究院)菅 誠治氏

【展示】自動合成・マイクロ合成装置などのデモ

参加申込締切 7月29日(金)ただし、対面式は参加人数を制限します。

参加費 フロー・マイクロ合成研究会会員: 無料
共催団体会員(法人) 15,000円、(大学・公設機関) 5,000円、会員外 20,000円(何れも消費税含む)

申込方法 ホームページ上の参加申込フォーム

参加申込方法 Web上の参加申込フォーム (<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=29686>) よりお申込みください。参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください。

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

問合・申込先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: apply@kansai-scej.org



第32回九州地区 若手ケミカルエンジニア討論会 参加募集

主催 化学工学会九州支部、化学工学会九州支部若手の会、Q・NET (化学工学会九州支部若手エンジニア連絡会)

共催 石油学会ジュニアソサイアティ

協賛 北九州化学工学懇話会、東九州化学工学懇話会、南九州化学工学懇話会、沖縄化学装置懇話会

第32回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を、来たる2022年7月15日(金)～16日(土)に「福岡大学」にて開催いたします。本会は学生企画や研究発表などのプログラムを通して、若手研究者の交流・意見交換を行うことで、その後の研究活動に対する啓発を促すことを目的としています。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては内容が変更される可能性があります。最新版は九州支部のサイト (<http://www3.scej.org/kyushu/>) でご確認ください。

日時 2022年7月15日(金)・16日(土)

開催形式 オンライン(予定)

会場 福岡大学 中央図書館・多目的ホール
(〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1)
(交通)福岡市営地下鉄七隈線「福大前駅」下車・西鉄バス「福大前」下車

プログラム

●大会1日目(7/15)＜13:00～17:00を予定＞

- 参加受付・開会
- 若手の会学生企画①「グループワークを通して学生間交流と化学工学学習」
- 特別講演会① 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 横井奈央氏
- 特別講演会② 福岡大学 工学部 化学システム工学科 松隈洋介氏
- Q・NET会議(福岡大学 中央図書館6F 大学院会議室)
- 親睦会(新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止)

●大会2日目(7/16)＜10:00～13:00を予定＞

- ポスター発表「学生による研究発表」
- 若手の会学生企画②「博士への招待」
- 総合討論・優秀ポスター賞表彰式・閉会式

参加費 無料

※本討論会は2日間の開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全体での宿泊は行いません。宿泊が必要な方は、お手数をおかけしますが各自でご予約ください。

申込締切

- ポスター発表申込締切:2022年6月9日(木)
- 要旨原稿締切:2022年6月16日(木)
- 参加申込締切:2022年6月30日(木)

要旨・ポスター発表

要旨は、A4版白黒1ページ、上下左右にマージン25mm、文字サイズ10.5ポイント程度、1行目にタイトル(12ポイント、センタリング)、3行目に研究者名(10.5ポイント)、4行目は空け、5行目から内容(2段組)、最後に、連絡先住所・TEL・E-mailをご記入ください(九州支部ホームページ上の要旨サンプルをご参考ください)。完成した要旨はWordファイル形式で、研究室単位でまとめてお送りください。

ポスター発表は、通常の学会における発表とは異なり、研究意義や目的などの研究背景を中心としたものとし、実験データの掲載は必要最小限に留めることとします。また、優秀発表者に対してはポスター賞の授与を行います。ポスターサイズはB1サイズ(728mm×1030mm)とします。B1の用紙を縦に利用して印刷したものを当日会場へお持ちください。

発表・参加申込・要旨提出先

発表希望者および参加希望者は、参加・発表申込書テンプレートに①氏名、②所属機関(大学名、所属研究室・部署、学年・職位)、③年齢、④性別、⑤宿泊の有無、⑥ポスター発表の有無、⑦発表タイトル、⑧代表者連絡先(氏名、所属、TEL、E-mail)を記入の上、下記連絡先(学生幹事代表:浦)までE-mailにてお申し込みください。同じ研究室・所属の参加者は、できる限り研究室毎に取りまとめてお申し込みください。

第32回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会

学生幹事代表: 浦 琢真(福岡大学大学院 工学研究科 化学システム工学専攻)

E-mail: q-wakate-ce_22@fukuoka-u.ac.jp

感染予防のお願い

- 風邪のような症状がある場合もしくは37.5℃以上の発熱がある場合は参加を自粛してください。
- 参加者はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- 新型コロナ感染症を発症したもしくは疑いのある方と濃厚接触された方の参加はお断りすることがございます。

問い合わせ先

実行委員長: 瀬戸弘一(福岡大学工学部化学システム工学科)

E-mail: hirokazuseto@fukuoka-u.ac.jp

〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1、6号館621B号室

TEL: 092-871-6631

第53回化学工学の基礎講習会

主催 化学工学会九州支部

本講習会では化学工学の全分野に亘って「実際に使える化学工学」を目指し、演習をふんだんに取り入れた分かりやすい講義を行います。15テーマの内、全テーマの共通基礎となる3テーマを毎年、その他の12テーマを隔年で行います。初めて化学工学を学ばれる方はもちろんこの機会にもう一度勉強してみようと思われる方を始め、多数の方にご参加頂ける内容になっています。

日時 2022年7月20日(水)～8月5日(金)
10:30～16:30

会場 九州大学西新プラザ 福岡市早良区西新2-16-23

URL: <http://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>

令和4年度日程、講義テーマおよび講師

テーマ番号	月日	曜日	講義テーマ	氏名
1	7月20日	水	化学工学基礎	新戸浩幸氏
2	7月21日	木	流動	松隈洋介氏
3	7月22日	金	伝熱	岩本光生氏
4	7月27日	水	調湿・乾燥	山村方人氏
5	7月28日	木	晶析	須藤吾吾氏
6	7月29日	金	反応工学(1)	神谷典徳氏
7	8月3日	水	吸着・イオン交換	上江洲一也氏
8	8月4日	木	プロセス制御	野田 賢氏
9	8月5日	金	反応工学(2)	岸田昌浩氏

令和5年度講義テーマ(9テーマ)

毎年開催: 「化学工学基礎」「流動」「伝熱」

隔年開催: 「蒸留」「攪拌・混合」「抽出」「ガス吸収」「粉粒体操作」「固液分離」

申込締切 6月22日(水)

受講コースおよび受講料

(全テーマ受講)40,000円。学校関係者は全テーマ受講に限り20,000円。

(3テーマ受講)20,000円。全9テーマのうち希望する3つのテーマに限り受講することができます。

(1テーマ受講)10,000円。全9テーマのうち希望する1つのテーマに限り受講することができます。

なお、全テーマ受講、3テーマ受講は、複数人で受講(1テーマにつき1人)することも可能です。

資料請求および問合せ先

化学工学会九州支部事務局(九州大学大学院工学研究科化学工学部門内)

TEL&FAX: 092-802-0009

E-mail: kshibu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://www3.scej.org/kyushu/>



☆同志社大学理工学部化学システム創成工学科 教員公募☆

募集人員：准教授または教授1名(任期5年)

専門分野：移動現象，エネルギー工学，環境化学工学

応募資格：博士の学位を有し，上記専門分野での高い研究意欲と実績を持ち，学生指導・教育にも積極的に取り組むことができる方

応募締切：2022年7月29日(金)必着

問合せ先：〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学理工学部化学システム創成工学科 竹中 壮

TEL：0774-65-6563

E-mail：stakenak@mail.doshisha.ac.jp